

人と魚と海のネットワーク
香川県漁連ホームページ
http://www.jf-net.ne.jp/kagyoren/
E-mail:gyoren@kagawa-
gyoren.or.jp



JF 高松市北浜町 8 - 25
TEL 087-825-0350
J F 香川漁連 FAX 087-851-0699

憲法記念日の知事表彰 水産業振興功労者



浅野 博海

粟島漁業協同組合代表理事組合長

浅野氏は学業終了後、漁業に従事し、主にカキ養殖、ノリ養殖業、ヒラメ養殖業、建網漁業を営んできた。

特に、カキ、ヒラメ養殖については、当漁協では最初に取り組み、主要な漁業に発展することに大きな貢献を果たした。

平成10年に組合長に就任後は、漁協の行う各種事業の堅実な運営を図るとともに、11年には信用事業の香川県信漁業協同組合連合会への譲渡を実施し、14年6月には「粟島・志々島漁協合併協議会」を設立し、会長に就任して、15年7月に両漁協の合併を成し遂げた。

その後も、組合長として、事業管理費の削減、組合員の系統利用率の堅持によって、堅実な漁協経営を行っている。

さらに、香川県漁業協同組合連合会理事、香川県漁業共済組合監事として、また、平成18年には三豊郡漁業組合連合会長に就任し、県下水産業の振興、関係団体の発展と健全な運営に大きく貢献している。



三島 朝弘

西詫間漁業協同組合代表理事組合長

三島氏は学業終了後、漁業に従事し、イワシ巾着網などに従事した後、昭和30年頃から現在まで小型機船底びき網漁業を営んでいる。この間、ノリ養殖業やサワラ流しさし網なども兼業した。

平成8年に三崎漁業協同組合の組合長に就任後は、漁協の行う各種事業の堅実な運営を図るとともに、10年には、信用事業の香川県信漁業協同組合連合会への譲渡を実施し、また、豊富な漁業経験と、粘り強い指導力によって、漁業種類間の調整を図り、組合員の安定した操業に寄与してきた。

平成14年10月には「三崎・大浜漁協推進協議会」を設立し、副会長に就任して、平成15年4月に両漁協の合併を成し遂げた。

16年10月からは合併後の西詫間漁業協同組合の代表理事組合長に就任し、堅実な漁協経営を行っている。

さらに、香川県漁業協同組合連合会、香川県信用漁業協同組合連合会の理事などを歴任し、県下水産業の振興、関係団体の発展と健全な運営に大きく貢献している。

ハマチ養殖80周年記念事業始まる!

本年は、日本のハマチ養殖の先駆者、野網和三郎氏(愛称:ワーサン)の生誕100年にあたり、同時に東かがわ市引田の安戸池でハマチ養殖が始まって80周年という節目の年である。そこで、これを契機として、昨年度に引き続き本年度も魚類養殖業の活性化のため、「ハマチ養殖80周年記念事業実行委員会(会長:香川県漁連服部会長 構成:香川県漁業協同組合連合会、香川県かん水養殖漁業協同組合、(社)香川県水産振興協会、香川県、東かがわ市)」を設立し、県産ハマチの普及啓発や販売促進のための事業に取り組んでいく。

本年度に取り組む主な事業は次のとおり。

1 普及啓発グループ

- (1) オリーブハマチのブランド化のため、水産試験場での給餌試験と養殖現場での量産化に向けた支援を行う。【オリーブ班】
- (2) 小学生を対象に種苗導入から出荷までを体験学習する追跡調査や、県産ハマチを広くアピールするためハマチのつかみどりイベントを行う。このうち種苗導入については、5月中旬に鹿児島県と長崎県の実際の導入漁業者にインタビューするとともに活魚船での種苗導入状況をビデオ撮影したものを教材として利用する。【追跡・ハンター班】
- (3) ハマチの販売促進や一般家庭で活用できるハマチ料理普及のため、料理コンテストや料理インストラクターの養成、食育シンポジウム、学校給食への補助等を行う。【料理・食育班】

2 販売促進グループ

- (1) 県産ハマチの販売促進と消費宣伝のため、「香川ハマチ大使」2名を認定するとともにキャラバンを行う。【大使・キャラバン班】
- (2) 県産水産物の重要な消費地において、積極的に県産水産物を取り扱っている卸売市場および量販店関係者等と懇談会を開催するとともに、量販店で試食販売のフェアを行う。【懇談会班・フェア班】
- (3) 養殖ハマチのオーナー制の導入効果について検証するため、モデル漁協を選定し支援を行う。またインターネットの普及に伴い、ネット通販体制を整備する漁協に対して支援する。【オーナー・産直班】

3 販路拡大グループ

- (1) ハマチの消費拡大(商談の進展)のため、関東・京阪神の水産物卸売業者や新規の業者等を招待し、ハマチ養殖の現状(漁場視察・安全性等)を確認してもらうとともに試食会や意見交換を行う。【内覧会班】
- (2) 東南アジア、中国、アメリカ等への試験輸出の手法を模索するとともに、ハマチフィレの輸出を行う。【輸出班】

小型漁船の皆さんへ

ライフジャケットの着用が義務付けられました。

平成20年4月1日より、船舶職員及び小型船舶操縦者法施行規則が施行され、漁船への一人乗り航行・漁労中の場合には、救命胴衣の着用が義務付けられました。

*違反の場合は2点が加算され累計5点(過去3年以内の処分がある場合は3点)に達すると再教育講習を受けなくてはなりません。この講習を受けなければ6ヶ月以内の業務停止等の行政処分が行われま

す。
各種ライフジャケットの種類・価格等については、漁連 資材課にお尋ねください。

主な行事予定(6/1~6/30)

6月	2日(月)	漁連理事会
	10日(火)	女性連創立50周年記念大会
	13日(金)	漁連推薦会議 無線組合総会
	17日(火)	漁業共済組合総会
	19日(木)	漁船保険組合総代会
	20日(金)	JF共済推進本部総会 海苔研総会
	24日(火)	漁連総会 信漁連総会

全国漁業協同組合学校

階層別研修総合案内

本校は JF 合併等に資する人材育成と実務習得を目指して、JF グループ団体の役職員を対象とした研修を下記のとおり実施いたします。

監査士養成コース・・・7月(10日間) 平成21年1月(4日間)

7月：監査士試験合格をより確実にする10日間

1月：監査士2月受験直前研修(参加しやすい4日間)

販売事業コース・・・9月(3日間)

妻教授と学ぶ「究極のブランド化」「魚食文化」を起点とする水産物の販売戦略

指導事業コース・・・1月(3～4日間)

市場主義時代の営漁指導目標と協同組合モデルの追求

購買事業関係・・・2月

第44回JF全漁連石油部門職員研修会(予定)

専門講座・・・11月

漁家、中小漁業の経営体制の改善・強化の推進を図るため営漁指導を担当する専門職員の養成

* 上記研修に関する詳細は募集要項等にてご案内しております。

連絡先

〒 277 - 0854

千葉県柏市豊町1-4-5

TEL 04 - 7144 - 8125

FAX 04 - 7145 - 5003

<http://www.jf-net.ne.jp/kumiaigakkou/>

平成21年度の「学生募集」について

本校は、JF合併に資する人材の育成を目指し、漁協職員として即戦力の人材養成を行っています。

修業年限：1年・全寮制 定員50人(男女共学)

入学選考 第1回

平成20年11月21日

平成21年度の願書受付は3回とします。

第1回：平成20年10月1日(水)～11月7日(金)

第2回：平成20年12月1日(月)～21年1月16日(金)

第3回：平成21年1月19日(月)～21年3月13日(金)

(連絡先) TEL：04 - 7144 - 8125

(担当) 学監：酒井 主事：田中・森本・矢原